

令和元年度第12回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和2年3月19日（木） 午後2時30分
～午後3時15分

場 所 教育委員会 第一会議室

出席委員 相澤一彦教育長、井上正信委員、村山晴香委員、
松村昌子委員、大内あゆ子委員

欠席委員 なし

出席者 大内淳一教育次長兼教育総務課長、佐藤亨学校教育課長、
熊澤輝生涯学習課長、高橋清見学校給食センター所長、
事務局（教育総務課職員）

議 事

- 議第32号 第2次天童市教育振興基本計画（案）について
- 議第33号 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（案）について
- 議第34号 天童市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

<教育長あいさつ>

先程開催されました総合教育会議では、いろいろなご意見をいただき、ありがとうございました。

その中で、制服のことが出ましたが、男女混合名簿やLGBTのことなども含めて、個性への配慮の観点から話題にすることは大切なことだと感じました。

また、先日開催されました卒業式への出席、大変お疲れ様でした。引き続きご指導をお願いいたします。

例年、天童市の学校教育について、小中学校16校を回って話をしています。

その中で話す内容について、例月発行の月報、来年度から名称が変わりますが、そこに掲載した内容の2点についてお話しします。

1点目は、昨年に教育月報に書いた「教職員に求める矜持(きょうじ)」についてです。

その内容は3つあり、1つ目は、模範的な大人と慎み深さを持つこと、2つ目は、プロとしての技量を持つこと、3つ目は、市民としての誇りを育てることです。

次に2点目として、「未来を描き、問いを立て、解決・創造する子供を育てる学校教育」です。

詳しくは、今回から柔らかい表現にしました資料を、後程ご覧いただきたいと思っております。

次に、総合教育会議で話をしました、学校教育の基本的な考え方について、3点を柱にしていきたいと考えています。

1点目は、一人ひとりを大切にする教育、2点目は、学びに向かう力を育む教育、3点目は、郷土を担う人づくりの教育です。今後も頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

むすびに、コロナウイルスの感染拡大で、先が見通せない状況もあり、本来であれば教育委員会会議に諮って進めていく事案もありますが、事務局での判断で進めさせていただければと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

今日は、今年度最後の会議になります。1年間のご支援に感謝し、あいさつとさせていただきます。

< 議 事 >

議第32号 第2次天童市教育振興基本計画（案）について

< 可決する >

審議経過

井上委員 : GIGA 構想について、パソコンが多くなった場合は、処理スピードが遅くなるのですか。

教育次長 : その通りです。

議第33号 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（案）について

< 可決する >

審議経過

井上委員 : 計画にグラフが入っていて良いと思います。
計画はあっても学校に浸透していないことが多いので、今後、配慮をお願いします。

村山委員 : 計画の中にあるブックスタート事業とは、どのようなものですか。

教育次長 : 健康課で行っている事業で、赤ちゃんに読み聞かせを行う事業です。

議第34号 天童市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

< 可決する >

審議経過 質疑なし

教育長 : 他には無いようですので、第12回教育委員会会議を終了します。